



令和8年分所得税及び復興特別所得税の 予定納税額の7月(11月)減額申請書

11月減額申請の場合は「7月」の文字を抹消してください。

税務署長
令和____年____月____日提出

現在の住所又は所 事業所等	(〒 _____)	職業	
フリガナ 氏名		電話 番号	

令和8年分の予定納税額について次のとおり減額の申請をします。

		通知を受けた金額	申請金額
予定納税基準額又は申告納税見積額		円	円
予 定 納 税 額	第1期分		円
	第2期分		円

- 「通知を受けた金額」欄には、「令和8年分所得税及び復興特別所得税の予定納税額の通知書」に記載されている金額をそのまま書いてください。ただし、11月減額申請の場合で、既に7月減額申請により減額の承認があった方は、その「減額申請の承認通知書」から転記してください。
- 「申請金額」欄には、下の「申告納税見積額等の計算書」で計算した「申告納税見積額 (㉓の金額)」、「予定納税額 (㉔、㉕の金額)」をそれぞれ書いてください。

- 減額申請の理由 (該当する項目を○で囲んでください)
 廃業 休業 失業 災害 盗難 横領 医療費 その他 (業況不振、控除対象扶養親族・障害者等の増加など)
- 減額申請の具体的理由 (例えば、「〇年〇月〇日に事業を法人組織とし、個人事業を廃止したため」というように書いてください)

- 添付書類の名称 (申告納税見積額の計算の基礎となった資料として添付する書類の名称を書いてください)

(1) _____ (3) _____
 (2) _____ (4) _____

申告納税見積額等の計算書 (書き方は裏面を参照してください)

		申請金額
令和8年分の所得金額の見積額	営業等・農業	① 円
	不動産	②
	利子	③
	配当	④
	給与	⑤
	雑	⑥
	総合譲渡・一時	⑦
	合計(総合課税)	⑧
		⑨
		⑩
	合計所得金額	⑪
所得から差し引かれる金額	社会保険料控除 小規模企業共済等掛金	⑫
	生命保険料控除	⑬
	地震保険料控除	⑭
	寡婦、ひとり親、 勤労学生、障害者	⑮
	配偶者(特別)控除	⑯
	扶養 特定親族特別	⑰
	基礎控除	⑱
	雑損控除	⑲
	医療費(特例)控除	⑳
	寄附金控除	㉑
	合計	㉒

		申請金額
課税される所得金額 (㉒の金額を、まず㉓の金額から差し引き、引ききれないときは、㉔及び㉕の金額から差し引いて書いてください。)	⑧に対する金額	㉓
	⑨に対する金額	㉔
	⑩に対する金額	㉕
	税	
	額	
	上の㉓に対する税額	㉖
	上の㉔に対する税額	㉗
	上の㉕に対する税額	㉘
	合計	㉙
	配当控除 投資税額等の控除	㉚
	住宅借入金等特別控除	㉛
	政党等寄附金等特別控除	㉜
	住宅耐震改修特別控除、住宅特定改修 認定住宅等新築等特別税額控除 差引所得税額(㉙-㉚-㉛-㉜-㉝) (赤字のときは0と書いてください。)	㉝
	災害減免額、所得税に係る分配時調整 外国税相当額控除及び外国税額控除額	㉞
	所得税に係る源泉徴収税額 (源泉徴収税額×100/102.1)	㉟
	再差引所得税額(㉞-㉟-㊱) (赤字のときは0と書いてください。)	㊱
	㊱ × 2.1%	㊲
	申告納税見積額(㊲+㊳) (15万円未満のときは0と書いてください。)	㊳
予 定 納 税 額	第1期分	㊴
	第2期分	㊵

ご注意

- ◎令和8年分の申請書の提出期限は、7月減額申請の場合は7月15日、11月減額申請の場合は11月16日です。
- ◎予定納税額とは7月減額申請と11月減額申請とは計算のしかたが異なりますからご注意ください。
- ◎変動所得・臨時所得のある方は税務署にお尋ねください。

税理士
名
(電話番号)

裏面の1の4)を読んでください。

千円未満の端数は切り捨ててください。

百円未満の端数は切り捨ててください。

税務署整理欄	通信日付印の年月日	確認	整理番号	青白区分	振替納税利用金融機関番号	一連番号
	年 月 日		0			